

住友林業フォレストサービス株式会社の取組の概要

1. 実施事業体の概要

住友林業フォレストサービス株式会社は、今回事業を実施した高知県土佐町をはじめ、全国に森林を所有しています。また、森林管理から木材流通に至るまでの林業の各部門を事業内容としている我が国でも珍しい総合林業事業体です。

2. 取組1「皆伐後の造林未済地解消を目的とした低コスト造林」(平成19年度)

①取組の内容

2種類の植栽密度(1,000本/ha、1,500本/ha、林地の7割に植栽、残りの3割については天然更新)、2種類のシカ食害対策(外周にネットを張り巡らせる方法とヘキサチューブを設置する方法)を組み合わせ、4つのエリアで従来の作業システム(植栽密度3,000本/ha)とコストを比較しました。ヘキサチューブ設置エリアでは植栽年度を含めた5年間下刈りを実施せず、低コスト化を図りました。



②取組の結果

ヘキサチューブ設置エリアについて、従来のシステムでは植栽から5年後までのコストが3,240,000円/haでしたが、1,000本/ha植栽箇所では769,500円/ha(76%減)、1,500本/ha植栽箇所では1,037,250円/ha(68%減)となりました。

シカネット設置エリアでは、従来のシステムでは植栽から5年後までのコストが1,536,000円/haでしたが、1,000本/ha植栽箇所では1,046,000円/ha(32%減)、1,500本/ha植栽箇所では1,105,500円/ha(28%減)となりました。

3. 取組2「セラミックパイプおよびコンテナ生産の植栽苗を用いた作業効率及びコスト改善の検証」(平成22年度)

①取組の内容

4種類の苗(需給調整苗、キャンディポット苗、マルチキャビティコンテナ苗、セラミックパイプ苗)による植栽効率の比較(従来は2,000本/ha植栽に対し、1,500本/ha植栽)と、ヘキサチューブとシカネットの設置効率を比較しました。



②取組の結果

4種類の苗のうち、最も植栽効率の良かったセラミックパイプ苗を使用したシステムと、従来のシステムと比較したところ、植栽効率は従来の250本/人日に対し460本/人日と84%増加したものの、植栽コストは従来のシステム304,000円/haより312,900円/haと3%増加しました。獣害対策及び下刈の労働力投資は従来のシカネットが69人日/haに対し、ヘキサチューブは5年間の下刈を省略できることから15.1人日/haと78%減少しましたが、コストを見るとシカネットが1,043,000円/haに対しヘキサチューブは1,141,300円/haと9%増加しました。

→詳細版はこちら 1(PDF:2,316KB)、2(PDF:1,636KB)